

ネスレ日本株式会社

物流分野において、「地球温暖化に対する脱炭素化」や「トラックドライバーの不足(物流の2024年問題)」への対応が重要な課題となっているなか、静岡～大阪間(距離約330km)において、毎日40コンテナ(200トン)をトラックで輸送していたペットボトルコーヒーを鉄道貨物輸送に転換したことで、年間のCO₂排出量を900トン、トラックの走行台数を4,000台、運転時間を24,000時間削減した。なお、こうした中距離帯(300km～400km)での大量な定期貨物鉄道輸送は、食品飲料業界では初めての取組となる。

取組内容

実施前(Before)

ネスレ日本島田工場
(静岡)



静岡から大阪へ毎日40コンテナ(200トン)
→ **トラック輸送量を大幅削減**

静岡保管拠点

(保管)



距離約 330 km

実施後(After)

静岡貨物駅

CO2削減・輸送力確保・効率UP



百済貨物駅

(保管)



関西各納品先

取組効果 (2024年度)



CO2

年間
900ton-CO₂
63%削減

トラック台数

年間
4,000台
削減

運転時間

年間
24,000時間
75%削減